

令和5年度 博物館・資料館運営事業 中間報告

1. 特別展・企画展

【佐渡博物館】

企画展「佐渡の美術・工芸-小品の世界-」

- ・開催期間: 令和5年11月1日(水)～12月28日(木) ・来館者数: 527人
- ・内容 佐渡の美術・工芸品の中でも小品にスポットをあてた企画展示。鍔金・陶器・短冊のほかにも鍔金作品の型や、三浦常山が使用した判など約80点展示。盃などは作者の遊び心が盛り込まれた作品も多く、佐渡の美術・工芸品の技術の高さや表現の豊かさを感ずる展示となった。



佐渡植物園パネル展「佐渡の植物と牧野富太郎」関連展示

佐渡博物館特別展示「牧野富太郎検閲標本」

- ・開催期間: 令和5年9月10日(日)～9月30日(土) ・来館者数: 943人
- ・内容 令和5年7月1日から9月10日まで佐渡植物園で開催したパネル展「佐渡の植物と牧野富太郎」で、展示することができなかった県立佐渡高等学校所蔵の牧野富太郎検閲標本や、牧野博士が遺したスケッチ等から作成した図鑑などの資料を、佐渡博物館において展示。



* 特別展・企画展会期外の期間は佐渡の美術・工芸の展示を行った。

2階展示室 土田麦僊の作品の下絵や写生帖などを2ヶ月に一度程度入れ替えしながら1年間展示。麦僊の資料のほかに麦僊門下の恩田耕作の作品も展示。



2階常設展示室 古代分野(縄文・弥生・古墳時代)の解説パネルの更新

【両津郷土博物館】

企画展「記録写真 あの日あの時の佐渡 1(昭和後期)」

- ・開催期間:令和5年4月15日(土)～5月28日(日) ・来館者数:465人
- ・内容 佐渡の写真を撮影し続けている写真家 田村祥男氏が昭和45年から佐渡に通い、撮りためた写真の中から130点あまりを展示。併せて写真にちなんだ昔なつかしい道具の数々を展示した。

参加型ギャラリートーク「みんなで昭和の思い出語り」 4月22日(土) ・参加者数:41人



企画展「手わざ図鑑－佐渡の手仕事－」

- ・開催期間:令和5年10月7日(土)～11月12日(日) ・来館者数:432人
- ・内容 昭和60(1985)年に新潟日報佐渡版に30回にわたり連載された「手わざ図鑑」をもとに、ものづくりに携わる人々の声や写真の記事をパネルとし、博物館資料の中からそれらに関わる道具類を展示した。

展示解説「なつかしのモノ語り」 10月29日(日) ・参加者数:13人



【佐渡植物園】

パネル展「佐渡の植物と牧野富太郎」

- ・開催期間: 令和5年7月1日(土)～9月10日(日) ・来館者数: 550人
- ・内容 佐渡の植物の概要や植物園の設立、昭和8年に来島した牧野富太郎に関する新聞記事や関連資料をパネルで展示紹介。また、近藤福雄氏が撮影した牧野富太郎の写真などもパネル化して展示。



山野草展

- ・開催時期: 令和5年5月13日(土)～14日(日) ・来館者数: 248人



ウチョウラン展

- ・開催時期: 令和5年7月1日(土)～令和5年7月2日(日) ・来館者数: 161人



雪割草展

・開催時期:令和6年3月23日(土)～3月24日(日)



【新穂歴史民俗資料館】

新穂の歴史と民俗を考える会が中心になり企画展を実施。

① 渡辺治写真展

・開催期間:令和5年3月4日(土)～4月16日(日) ・来館者数:520人
作品説明会 令和5年3月4日(土)、28日(火) 計2回実施

② 新穂資料館『トキ関連収蔵品』展

・開催期間:令和5年4月29日(土)～6月18日(日) ・来館者数:306人
展示説明会 令和5年6月4日(日) 計1回



③ 中世佐渡国モノ語りー考古資料にみる中世のくらしー展

・開催期間:令和5年7月8日(土)～9月3日(日) ・来館者数:693 人

パネル、絵図面、文献史料、出土品を展示

展示説明会 7月 29 日(土)、8月 11 日(金)

関連事業 7月 29 日(土) 中世佐渡国モノ語り講演会 ・来館者数:66 人

④ 裂織展

・開催期間:令和5年9月 12 日(火)～10 月9日(月) ・来館者数:547 人

新穂中学校1年生の作品を同時展示

⑤ 土屋忠司遺作展

・開催期間:令和5年 10 月 14 日(土)～11 月 26 日(日) ・来館者数:340 人

2. 各事業

【調査・研究・収集事業】

<博物館・資料館収蔵品調査>

各所管施設の収蔵資料について整理・調査を実施した。

館名	令和5年度	累計
佐渡博物館	36 点	946 点
両津郷土博物館	369 点	1,273 点
相川郷土博物館	3,008 点(※)	4,969 点
佐渡国小木民俗博物館	12 点	3,074 点
新穂歴史民俗資料館	20 点	548 点

※過去の不備内容を補完する確認点数を含む

<資料収集>

資料の収集については内容を十分精査した上で実施した。

資料名
世阿弥 2022(写真)
酒川哲保資料 一括(日記、書簡、発表原稿 等)
長井家(刀剣類5点、鏡、文書 等)

<博物館研究ノート>

学芸員が携わった企画展等における調査研究の成果を『博物館研究ノート(3号)』として制作。

【普及・啓発・学習活動支援事業】

＜ワークショップ・イベント等＞

「ジュニア学芸員養成講座」

- ・開催日:第1回 はくぶつかんのおしごと 6月24日
第2回 加茂湖たんけん 7月15日
第3回 むかしのくらし・むかしのあそび 7月29日
第4回 さど金銀山のひみつを絵巻からさぐる 9月9日
第5回 木のみやくさであそぼう 9月23日
第6回 まとめ・さどクイズをつくろう 10月7日
- ・参加者数:各回12人
- ・内容 幼少期から佐渡の魅力に触れることで、地域愛を育む一環とするため、小学校1～2年生を対象に実施



「土曜日の映画を見る会」(両津郷土博物館)

- ・開催日:第1回 10月28日 『外海府－佐渡風土記－』 『朱鷺』
第2回 11月4日 『佐渡今昔譚』 『タライ舟とノリ』 宮本常一 監修
第3回 11月18日 『新潟地震』
第4回 12月2日 『昭和初期の佐渡』 本間治郎 撮影・解説
第5回 12月16日 『佐渡の菅笠』 『佐渡の車田植』
- ・参加者数:延べ165人
- ・内容 佐渡の記録映画の鑑賞と博物館学芸員による解説を行い、記録・伝承する生活文化の意義を考える
- ・佐渡の記録映画の放映(45分)
- ・博物館学芸員による講話・解説(45分)



「資料の取扱い・保存教室」(佐渡博物館)

- ・開催日：7月24日 資料の取扱い方
 - ー掛軸や彫刻などの取扱い、梱包、展示の方法ー
- 8月7日 保存するために
 - ー保存の環境とIPM への取組ー
- 8月21日 モノに命をふきこむ
 - ー資料化することー
- ・参加者数:延べ18人
- ・内容 家庭や地域で保管している資料の取扱いや保存方法などの知識や技術的なことを博物館学芸員が講義し、大事な資料を、後世にどうしたらよい状態で伝えることができるかを一緒に考える。

回覧
令和3年7月12日

大事な資料の扱い方を学ぶ

資料の取扱い・保存教室

家庭や地域で保管している資料の取扱いや保存方法などの知識や技術的なことを、博物館学芸員がわかりやすくお話しします。
大事な資料を、後世にどうしたらよい状態で伝えることができるか、皆さんと一緒に考え、学びます。

と き 7月24日(月)、8月7日(月)、8月21日(月) 3回連続開催

午後1時30分～3時00分

と こ ろ 佐渡博物館 (佐渡市川崎3-1-1 博物館)

参 加 費 資料1冊1代(1部100円程度)

募集人数 10名

7月24日(月) ①資料の取扱い方
ー掛軸や彫刻などの取扱い、梱包、展示の方法ー

8月7日(月) ②保存するために
ー保存の環境とIPMへの取組ー

8月21日(月) ③モノに命をふきこむ
ー資料化することー 発掘資料からの発見ー
③日程、後輩等は参加できない可能性があります。

※事前にお申し込みが必要です。応募定員の場合は抽選となります。
申込期間:7月15日(月)～7月22日(木)

お申込み・お問い合わせは… 佐渡博物館

TEL0259-52-2447 佐渡市川崎2041番地

募集期間
7月15日～22日

「文化をつむぐミュージアム 暮らしのなかの SDGsーしまリッチ 伝統を未来へー」

(両津郷土博物館)

- ・開催日:第1回 10月27日(金)「どんぐりの森は加茂湖の恋人」
- 第2回 11月10日(金)「東日本大震災を乗り越える海の恵み」
- 第3回 11月20日(月)「神様からの贈り物ーイカ釣りの技は海峡を越えてー」
- 第4回 12月1日(金)「島で生きるということ」
- 第5回 12月9日(土)「自然との共生 歴史・民俗から考える これからのムラ(むら・村)づくり」
- ・参加者数:延べ101人
- ・内容 博物館のもつ里海、里山、平野の文化資源をもとに、人びとの暮らしから生物多様性、自然の恩恵、まちづくり、地域づくりなどについて学ぶ。地元の実践家や著名な研究者の話の中から、島の豊かさ、文化の継承、持続可能な社会とは何かを考える。



「地域を探る」(両津郷土博物館)

- ・開催日:令和5年8月 25 日、9月8日、9月 22 日、10 月 13 日、11 月 17 日
- ・参加者数:延べ 25人
- ・内容 『佐渡四民風俗』を読みながら、島内各地の生活文化の歴史について考える。各回の当番が自分の興味をもった箇所についてまとめを発表し、古文書や博物館資料を交えて講義を進める。講義 4 回、第 5 回は現地研修「世阿弥の足跡をたどる」



佐渡植物園ボタニカル・フェスティバル

- ・開催日:令和5年9月 10 日(日)
- ・参加者数:延べ 103 人
- ・内容 園内に自生する植物を利用した5つのワークショップを実施。
①佐渡の植物のお話 ②スケルトンリーフづくり ③薬草せっけんづくり
④トレジャーハント植物園 ver ⑤チャレンジ企画～つばき油をとってみよう



佐渡植物園ボランティア&ワークショップ

- ・開催日:令和5年 11 月 22 日(水)
- ・参加者数:17 人
- ・内容 植物園内の整備(ホソバオケラの掘り起こし、落ち葉の清掃、温室の清掃等)を行い、その後、園内に自生する植物を利用したチャイづくりを実施。



- ・令和6年3月 20 日に2回目のボランティア活動を実施予定

佐渡学センター地域連携プロジェクト 「泉地区の史跡を巡ろう」

- ・開催日:令和5年11月19日(日) ・参加者数:24人
- ・内容 地域住民が自分たちの地域を学び、地域づくりに活かしていくために、文化財を身近なものとして触れていただくことができるツアー形式として実施。



「第6回 佐渡民謡の祝祭」(佐渡民謡活性化実行委員会 事務局 佐渡学センター文化振興係)

- ・開催日:令和5年8月20日(日) ・来場者数:650人
- ・内容 佐渡民謡の担い手育成を目的として、「つなぐ～佐渡の過去と未来を民謡で～」をテーマに、佐渡民謡団体が一堂に会して、日頃の成果を披露するイベントを開催。



「鈍翁茶会」(益田孝翁顕彰事業実行委員会 事務局 佐渡学センター文化振興係)

- ・開催日:令和5年9月30日(土)～10月1日(日) ・来場者数:245人
- ・内容 郷土の偉人である益田孝の人柄と功績に触れていただくことを目的に、益田孝を顕彰する茶会を開催。

特別展示「佐渡博物館収蔵品展 益田孝～ゆかりの品～」

9月29日(金)～10月22日(日) ・来館者数:631人



＜出前授業等＞

市内の小中学校等の要望に沿って、学校への出前授業を実施した。

- ・令和5年6月5日 金井小学校 鬼太鼓について 3年生 56 人
- ・令和5年6月 28 日 佐渡総合高校 北前船の食文化等について 2年生 41 人
- ・令和5年 10 月 18 日 羽茂高校 校外学習(野草のワークショップ等) 1年生 19 人
- ・令和6年1月 16 日 羽茂小学校 地域を学ぶ 4年生 19 人
- ・令和6年1月 18 日 二宮小学校 昔のくらしを体験しよう 3年生 23 人
- ・令和6年1月 24 日 八幡小学校 昔の道具について 3年生6人
- ・令和6年1月 25 日 新穂小学校 昔の生活の道具から当時の人々の生活を考える
3年生 15 人
- ・令和6年1月 29 日 両津吉井小学校 昔の道具を見て当時のくらしの様子を知る
3年生4人

＜職場体験・見学＞

職場体験

- ・令和5年9月 20～22 日 佐和田中学校 2年生3人
- ・令和5年 10 月 4・5 日 真野小学校 6年生4人
- ・令和5年 10 月 25・26 日 真野中学校 2年生4人

佐渡博物館内の資料から「押し資料」を生徒各自で選び、その解説パネルを作成し、展示室に設置。また、来館者への聴き取り(どの資料に興味があったかなど)を自主的に行う生徒もいた。



＜連携事業＞

公民館事業と連携した講座要望に対応した。

- ・小木地区公民館「相川金銀山・小木湊探訪講座」

<新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業>

「シンポジウム」 開催日:令和5年11月5日(日) ・来場者数 101人

・内容 『万葉集』と日本海・越・佐渡

①基調講演 藤原茂樹(高岡市万葉歴史館館長) 「『万葉集』と日本海・越・佐渡」

②講演 中本真人(新潟大学人文学部准教授) 「古代佐渡と万葉歌人」

③講演 新谷秀夫(高岡市万葉歴史館学芸課長)

「街じゅうに 万葉ころがる 高岡市 ―無形資産《越中万葉》の活用によるまちづくり―」

④パネルディスカッション

『万葉集』を通して古代の日本海、越の国々、さらに佐渡を見直し、『万葉集』を通してうかがえる地域の魅力や、万葉集を生かしたまちづくりの取り組みについて紹介し、『万葉集』と大伴家持、越、佐渡に関するパネルを展示した。



「佐渡学セミナー」 開催日:令和5年8月26日(土) ・来場者数 81人

・内容 調査報告と講演

①調査報告:赤玉地区の民俗調査報告(新潟大学民俗学研究室 花野 千尋)

令和5年に新潟大学民俗学研究室の学生たちが行った両津地区赤玉での民俗調査の成果から、赤玉に伝承されてきた祭りや芸能、信仰を中心に、地域の人々の多様な結びつきや暮らしぶりを紐解く。

②講演:佐渡におけるムラと組―結衆の民俗―(新潟大学 人文学部 准教授 飯島 康夫)
民俗事象を継承し人々の結集の母体となってきたムラ(村)と、ムラを構成する様々な組の果たしてきた役割と変化について、新潟大学が佐渡地域で行った民俗調査の資料を中心に、市町村大字史資料も用いながら民俗学的に考える。



「夏期博物館実習」 開催日：令和5年9月 25 日(月)～9月 28 日(木)

新潟大学人文学部との連携協定事業の一環として、令和4年度から博物館実習生を受入れており、両津郷土博物館の所蔵資料の調査・記録を行った。

実習生 10 人、カード化資料数 83 点(スキ、センバコキ、フリベエ、マンガ、アゼヌリクワ等)



＜まちなか展示事業＞

相川郷土博物館で展示されていた天秤をきらりうむ佐渡にて展示予定

【レファレンス・資料貸出等】

＜レファレンス(照会対応)＞

佐渡の自然・歴史・文化に対する照会に対応した。

・実績：20 件

＜博物館資料の特別利用＞

各施設・資料の特別利用申請に対応した。

・実績：50 件

＜資料貸出＞

資料の貸出希望に対応した。

・実績：9件

【施設利用者数】

施設名	利用者数（無料入館者含む） 令和6年3月末時点	参考（令和4年度）
佐渡博物館	6,104 人	6,596 人
両津郷土博物館	2,032 人	610 人
相川郷土博物館	0 人	551 人
佐渡国小木民俗博物館	12,826 人	10,992 人
新穂歴史民俗資料館	2,644 人	3,241 人
相川技能伝承展示館	3,021 人	3,170 人
史跡佐渡奉行所跡	17,502 人	16,341 人
畑野鳥越文庫	371 人	426 人
佐渡植物園	集計なし	集計なし
幸丸展示館	集計なし	集計なし
日本アマチュア秀作美術館	集計なし	集計なし
計	44,826 人	41,927 人

【施設修繕】

施設名	修繕内容
佐渡博物館	CATVブースター交換修繕
両津郷土博物館	事務室エアコン修繕 消火ポンプ給水管修繕 身障者トイレ洗浄弁修繕 正面ドア修繕
新穂歴史民俗資料館	屋根漏水修繕修繕 男子トイレ修繕
相川技能伝承展示館	樋修繕

【施設整備】

＜相川郷土博物館耐震改修事業＞

経年劣化により損傷等が進む旧御料局佐渡支庁(相川郷土博物館)の耐震補強工事を令和4年度に引き続き実施するとともに、近代の佐渡鉱山をテーマとした展示更新工事を実施している。

＜佐渡奉行所改修事業＞

御役所、勝場等の復元から 20 年以上が経過し、白壁の崩落や雨漏り等が進んでいることから、施設改修を行う。令和5年度は改修に向けた破損状況調査や耐震予備診断等を行い、基本設計を策定。

令和5年度 破損状況調査・基本設計(御役所)

・今後のスケジュール(予定)

令和6年度 耐震基礎診断(御役所)・実施設計(勝場)

令和7年度 実施設計(御役所)・勝場改修工事

令和8～10 年度 御役所改修工事(具体的な工期は未定)

令和9年度 実施設計(御普請方役所)

令和 10 年度 御普請方役所改修工事